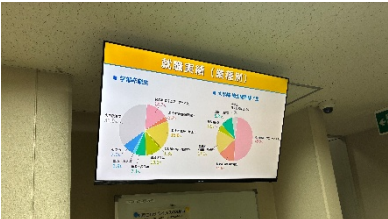
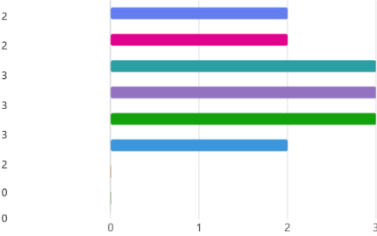
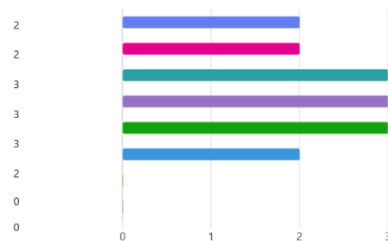


研究課題 (テーマ)		学生への効果的なキャリア関連情報発信のための環境整備	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	電気電子工学科	准教授	高屋 智久
	電気電子工学科	教授	畠山 哲夫
	電気電子工学科	准教授	岡本 大
研究結果の概要			
<p>本プログラムは、学生が大学生生活の早い段階から将来のキャリア形成について意識を高め、主体的に進路選択に取り組める環境を整備することを目的としています。具体的には、学生が日常的に利用する学内動線にデジタルサイネージを導入し、視覚的なアプローチを通じて就職活動やインターンシップに関する有益な情報をタイムリーに発信するものです。</p> <p>今年度は、学生や外来者の往来が多い研究棟4階の「電気電子工学実験室」付近に、天井吊り下げ型のデジタルサイネージを設置しました。平日の9時から18時を基本稼働時間とし、富山県内企業の就職状況や、最新のインターンシップ案内などのキャリア関連コンテンツを順次配信しました。その結果、実験開始前の待ち時間等に足を止めてコンテンツを熱心に視聴する学生の姿が多く見受けられ、新たな情報発信ツールとしての有効性が確認されました。学生に対して実施したアンケート調査においても、過半数の学生が「立ち止まって眺めた」「歩きながら何度か目にした」と回答しており、情報発信媒体としての認知は着実に進んでいると言えます。</p> <p>一方で、機器の設置に関する関係各所との調整に予想以上の時間を要し、本格的な稼働開始が当初の計画より大幅に遅れたことは今後の反省点です。結果として、今年度の情報発信期間が短縮され、全体の波及効果としては当初の想定を下回ることとなりました。しかし、運用期間中に実施したアンケートにより、学生が求めるコンテンツや現在の運用に関する具体的な課題を把握できたことは、次年度に向けた大きな収穫となりました。配信内容に関して、学生からのニーズが特に強かった「県内優良企業やエンジニアの紹介」「インターンシップ情報の拡充」に加え、「スキルアップ・資格取得情報」について、今後重点的に強化していきます。学生の生の声を反映した魅力的なコンテンツ作りを進め、より実りある学生生活と進路選択を強力にサポートしていきます。</p>			
		 <p>図：設置したサイネージ</p>	
		 <p>図：今後見たい情報に関するアンケート結果</p>	
今後の展開			
<p>次年度は、原則として平日は毎日稼働させる体制を維持し、十分な情報発信期間を確保します。あわせて、学生から要望の多かったコンテンツの充実に取り組んでいきます。また、本サイネージを就職・キャリア支援の枠に留めず、学内イベントの告知や日々の取り組みを発信するなど、学科の魅力を多角的に紹介する情報プラットフォームとしても活用していく予定です。これにより、学生の早期キャリア意識の醸成と、学科全体の活性化を推進していきます。</p>			

- 【先輩のリアルな声】卒業生や内定者の短いインタビュー（就活の体験談など）
- 【研究の裏側】各研究室の「実験装置」や「面白い研究テーマ」の紹介動画
- 【地元企業の魅力】富山県内にある優良企業や、そこで働くエンジニアの紹介
- 【スキルアップ】英語などの資格取得の案内や、プログラム等のおすすめの学習情報
- 【就活情報】現在掲載しているインターンシップ情報をさらに充実させる
- 【イベント情報】学科内のイベント、学会などの開催情報
- 【息抜き・日常】教員のコラムや、学生の日常風景
- その他

図：設置したサイネージ



図：今後見たい情報に関するアンケート結果